

# 日本文学専攻

## 日本文学を中心に、豊かな教養と高度な研究能力を修得

古代から現代までの各時代の文学・言語・芸能に関する科目を中心に学びます。また、文芸批評・中国文学・沖縄文学・国語教育などの関連科目を幅広く配置しています。

2011年度より「文芸創作研究プログラム」を新設。実際に創作を行い、その作品を修士論文の代替として提出できます。プログラムでは、文芸作品が社会で評価されるまでの仕組みを「社会と表現」「編集理論」などの講座で学習。また、「文芸創作研究」「作家特殊研究」などの講座では文芸創作そのものについて学んでいきます。このほか、能楽研究所と連携した「能楽研究者育成プログラム」では、能楽に関する最高水準の大学院教育で展開しています。また、国際日本学インスティテュートとの合同科目を多く開設し、外国人留学生と学ぶ場が多いのも本専攻の特徴です。本専攻では、研究者や教員、学芸員、文芸創作に関わる専門家、専門能力をさまざまな分野で生かせる社会人の育成を幅広く行っています。

### アドミッション・ポリシー (学生受け入れ方針)

修士課程では、教育課程に必要な適切な学力、論理的思考力、柔軟かつ斬新な発想や表現力を持つ学生を受け入れる。入学試験においては、一般入試のほか、外国人入試・社会人入試を実施し、多様な学生を積極的に受け入れる。また、博士後期課程では、教育課程に必要な高度な学力や研究成果を論理的にまとめ上げる能力、学術の発展に寄与する独創的な能力を持つ学生を受け入れる。

### カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成・実施方針)

古代から現代に至る各時代の文学・言語・芸能に関する科目のほか、沖縄文芸、中国文学、国語教育などの科目を設置する。また、「能楽研究者育成プログラム」「文芸創作研究プログラム」を修士課程に開設し、能楽研究および文芸創作、アートマネジメント、編集・出版などに関わる専門的な科目群を設置する。併せて国際日本学インスティテュートとの連携を深め、学際的・国際的な教育を展開する。

### ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

修士の学位授与に当たっては、日本の文学・言語・文芸の歴史と現状に関わる基本的な研究・創造の能力を身に付けるとともに、修士論文の提出を求める(「文芸創作研究プログラム」では、修士論文に代わる「文芸創作」「研究副論文」の提出を認める)。博士の学位授与に当たっては、高度で専門的な研究能力を身に付け、学術の発展に貢献できる水準に達した博士論文を提出することを求める。

### 研究室紹介

加藤 昌嘉 教授

平安時代の物語や和歌を研究

古典を注釈する楽しさ



私の担当する「日本古代文芸演習」では、「源氏物語」の写本を読み解き、注釈や現代語訳を、共同で作成しています。従来の注釈書を疑い、ゼロから、自分たちで、解釈＝翻訳しています。  
“当時の読者たちはこの文章をどのように読み得たか？” “この場面を映像化するとどういう位置関係になるか？” などと問うてみると、わかったつもりでいた文章が、全く違う相貌で立ち現れて来ます。「注釈」という作業は、「研究」の第一歩であると、強く思います。

### 学生・修了生の声

宇高 由妃 修士課程 在学中

引き算でなく足し算の小説の世界。

文芸創作研究プログラムは学ぶために最高の環境だった

#### 好きな授業・演習

①日本文芸批評史(田中和生先生)…二週間に一冊のペースで本を読んできてくれることになるので、勉強になりました。「様々な意匠」の熱っぽさがヤバかったです。  
②能楽作品研究(山中玲子先生)…「せっかく法政に入ったのだから」と軽い気持ちで足を踏み入れた能の世界に魅了されました。

#### 学んだこと、身に付いたこと

「学びたいことを最高の環境で学ぶ」ことを人生の基本方針にしています。小説を書き、読み、研究したいと思ったので、文芸創作研究プログラムのある本大学院に入りました。小説は引き算でなく足し算の世界だと思っています。引き算ばかりやっていた私にとって、本大学院は足し算をやっていく尊さを教えてくれる素晴らしい場所でした。たくさん学び続けたいです。



#### 研究テーマ

〔修士論文〕敗者のゲーム 〔修士副論文〕能における盲目

専任教員	専攻	研究テーマ	主な担当科目
阿部 真弓 教授	中世文学	日記文学、物語、和歌	日本中世文芸原典研究A・B
伊海 孝充 教授	中世文学(特に能楽)	古典演劇の能研究 (能の作品研究・謡本研究)	日本中世文芸演習A・B
尾谷 昌則 教授	言語学	認知言語学から見た意味拡張、 文法化、構文ネットワーク	日本語学演習A・B
加藤 昌嘉 教授	古代文学(後期)	平安時代の物語 (「源氏物語」など)	日本古代文芸演習A・B
小秋元 段 教授	中世文学	軍記物語、史論、説話、 お伽草子、近世初期出版文化	日本文芸特殊研究ⅡA・B
小林 ふみ子 教授	近世文芸	大田南畝・江戸狂歌を 中心とする近世中期文学・ 文化研究	日本近世文芸原典研究A・B、 日本文芸特殊研究ⅢA・B
坂本 勝 教授	古代文学(前期)	『古事記』『万葉集』を 中心とする上代文学研究	日本文芸特殊研究ⅠA・B、 日本古代文芸原典研究A・B
スティーヴン・ ネルソン 教授	日本音楽史学	雅楽・仏教音楽・平家語り、 古典文学作品と音楽	日本文芸特講ⅠA・B (文芸と音楽) 日本文芸特殊研究ⅣA・B
田中 和生 教授	近・現代文学、文芸批評	日本の近代文学の特質を 明らかにすること、 そこから現代文学の条件を 考えること	日本文芸批評史A・B
中丸 宣明 教授	近・現代文学	明治・大正の作家・作品研究	日本近代文芸原典研究A・B
中沢 けい 教授	文芸創作	小説、評論、随筆の執筆	日本文芸特講ⅡA・B (アートマネジメント研究)
藤村 耕治 教授	近・現代文学	昭和以降の文学、特に戦後文学 およびその継承者による 現代文学の作家・作品研究	日本近代文芸演習ⅠA・B
間宮 厚司 教授	日本古典語学	『万葉集』や『おもしろさうし』 などの語学的研究	日本語学原典研究A・B
宮本 圭造 教授	芸能史	能の歴史研究、中世芸能史	能楽資料研究A・B
山中 玲子 教授	能楽研究	能の作品研究・演出研究、 能の所作研究	能楽作品研究A・B、 現代能楽論
遠藤 星希 専任講師	中国古典文学	主に唐詩、唐代伝奇および 幕末期を中心とした 日本漢詩の研究	中国文学A・B

[2018年度] ※年度により授業を持たない場合があります。

### 設置科目【修士課程】

日本文学A・B(各2)  
 日本文芸批評史A・B(各2)  
 日本古代文芸原典研究A・B(各2)  
 日本古代文芸演習A・B(各2)  
 日本古代文芸特講A・B(各2)  
 日本中世文芸原典研究A・B(各2)  
 日本中世文芸演習A・B(各2)  
 日本近世文芸原典研究A・B(各2)  
 日本近世文芸演習A・B(各2)  
 日本近代文芸原典研究A・B(各2)  
 日本近代文芸演習ⅠA・B/ⅡA・B(各2)  
 日本語学原典研究A・B(各2)  
 日本語学演習A・B(各2)  
 日本語学特講A・B(各2)  
 沖縄文芸史A・B(各2)  
 中国文学A・B(各2)  
 日本文芸特講ⅠA・B(文芸と音楽)(各2)  
 日本文芸特講ⅡA・B  
 (アートマネジメント研究)(各2)  
 国語と文芸教育法A・B(各2)  
 女性文学A・B(各2)  
 文芸と視聴覚芸術A・B(各2)  
 学際的文学論(文学の境界領域、  
文学と宗教等)A・B(各2)  
 文学と風土A・B(各2)  
 能楽作品研究A・B(各2)  
 能楽資料研究A・B(各2)  
 現代能楽論(2)  
 日本語・日本文学の基礎A・B(各2)  
 歴史と文学論A・B(各2)  
 表現と社会(2)  
 編集理論(2)  
 作家特殊研究A・B(各2)  
 文芸創作研究A・B(各2)  
 日本文芸特殊研究  
 ⅠA・B/ⅡA・B/ⅢA・B/ⅣA・B(各2)  
 日本文学・国際日本学基礎演習(2)  
 日本文学・国際日本学論文作成基礎実習(2)

### 設置科目【博士後期課程】

日本文学特殊演習A・B(各2)  
 日本文芸学特殊研究A・B(各2)  
 日本文芸批評史特殊研究A・B(各2)  
 日本古代文芸特殊研究A・B(各2)  
 日本中世文芸特殊研究A・B(各2)  
 日本近世文芸特殊研究A・B(各2)  
 日本近代文芸特殊研究A・B(各2)  
 日本語学特殊研究A・B(各2)

[2018年度] ※開講科目は年度により異なります。( ) = 単位数

### 修了生の研究テーマ

- ・現『伊勢物語』本文形成過程
- ・古活字本「保元物語」本文考
- ・「方丈記」の文末表現研究
- ・世阿弥作夢幻能における脇役の工夫
- ・濫澤龍彦後期小説論
- ・視覚表現(漫画)と文章表現(小説)の違い
- ・カタカナ表記語の語用論的特徴